

福岡共同 公文書館だより

Fukuoka Communal Archives

vol.25

令和7年3月
March 2025



▲職場体験学習中の中学生

TOPICS

- 日めくり公文書館..... 2～6 頁
- 所蔵資料のご紹介..... 7 頁
- 施設利用のご案内..... 8 頁

日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

自

あなたのお部屋が展示室

宅で観覧 ウェブ展示

当館ホームページにて、展示室で開催する常設展や企画展の展示資料の一部を、「ウェブ展示」として掲載しています。

遠方でなかなか当館にご来館いただけない方などに、少しでも展示会の雰囲気を味わっていただければと始めた取り組みです。

今後の展示についても、ウェブ展示を開催予定ですので、ぜひご覧ください！



ウェブ展示は、
福岡共同公文書館ホームページ >
展示・講座案内 > 過去のイベント
情報
から見られるよ！



戦

常設展

後 福岡のあゆみ 開催中！



8月10日（日）まで、常設展「戦後福岡のあゆみ」を開催しています。（期間中に展示内容を一部入替予定。）

福岡県の終戦から令和までのあゆみを、「終戦からの出発（昭和20年代）」、「高度経済成長期の福岡県（昭和30年代）」、「福岡県の発展（昭和40年代）」、「新たなる時代へ（昭和50～60年代）」、「平成の福岡県」、「令和の福岡県」と章立てて、当館が所蔵する歴史公文書や行政資料を用いて紹介しています。

また、福岡県内の市町村の紹介について、今期は、嘉麻市、川崎町、香春町、荏田町、鞍手町、久留米市にスポットを当て、公文書と行政資料等で紹介します。

※次回の企画展は9月上旬から開催予定です。

日めくり公文書館

— 公文書館の出来事をご紹介します —

出張展示事業

おいでよ！福岡共同公文書館へ ～館外展示～

多くの方に「福岡共同公文書館」を知ってもらうため、当館では「おいでよ！福岡共同公文書館へ」と題し、出張展示を実施しています。

今年度は、公文書館だより vol. 24 でご紹介した道の駅「筑前みなみの里」、飯塚市役所に加え、宇美町役場、県庁、アクロス福岡、まなびのやど福岡、八女市役所、広川町役場、豊前市役所にて実施しました。

今後も、公共施設のギャラリー等をお借りして、県内の地域を巡る予定です。



▲宇美町役場

期間：8/1（木）～8/9（金）



▲福岡県庁

期間：8/13（火）～8/22（木）



▲アクロス福岡

期間：8/26（月）～9/1（日）



▲まなびのやど福岡

期間：10/8（火）～10/29（火）



▲八女市役所

期間：11/6（水）～11/20（水）



▲広川町役場

期間：11/20（水）～12/5（木）



▲豊前市役所

期間：2/6（木）～2/26（水）

市

ロビー展示

町村合併前後の広報誌～筑前町・みやこ町～

平成の大合併により、三輪町と夜須町との合併で筑前町が誕生し、犀川町と勝山町と豊津町との合併で、みやこ町が誕生しました。

今回の展示では、合併前後の様子を、広報誌を展示し紹介しました。



公 インターンシップ報告 文書館のお仕事って??

令和6年9月10日(火)～9月14日(土)の5日間、福岡県内の大学生1名が公文書館業務を体験しました。今回、行政資料の登録やスキャン作業等のルーティンワークに加え、施設見学会にて見学の方の受付も行いました。

▼スケジュール表

日程		研修内容
9月10日(火) 1日目	AM	・オリエンテーション ・行政資料登録
	PM	・燻蒸準備 ・燻蒸配架
9月11日(水) 2日目	AM	・害虫モニタリング
	PM	・公文書選別
9月12日(木) 3日目	AM	・広報誌封詰 ・施設見学会補助
	PM	・行政資料スキャン作業 ・審査調書作成
9月13日(金) 4日目	AM	・審査調書作成 ・審査調書報告 ・座談会
	PM	・公文書紹介作成 ・模擬選別会議
9月14日(土) 5日目	AM	・行政資料(広報誌)入力・整理作業 ・公文書返却作業
	PM	・公文書スキャン作業 ・インターンシップ体験記作成

▼行政資料登録作業の様子



▼審査調書作成の様子



インターンシップ報告

今回のインターンシップを通して、公文書館では重要な公文書を保管し、住民に対する説明責任を果たし、様々な情報を後世に伝えていく大切な役割を担っていることを学びました。

研修を通して、私が大変だと感じた業務は、公文書の選別と利用申請に対する審査調書作成です。公文書の選別では、公文書館に移管するかどうか評価選別基準をもとに判断するのですが、いくつかの要素が含まれている場合にどの項目で分類するかといった判断が難しかったです。審査調書作成では、住民の方からの利用請求があった場合、利用制限情報が記載されていないかを確認するため審査を行い、調書を作成します。その際、1つ1つ丁寧に見ていき見落としがないように気をつけながら、公開しても問題がないか考えていくため、集中力と思考力が求められると思いました。

公文書選別と審査はその後、会議で複数人の視点から検討されるため、職員の方同士で徹底した業務遂行がなされていたと感じ、仕事に対する責任を持つという意識がいかに大事かを実感することができました。

(福岡県立大学人間社会学部3年)

体験！職場体験学習 公文書館のお仕事！

令和7年1月30日（木）から2日間、昨年度に引き続き、筑紫野市立筑紫野南中学校の2年生2名が公文書館業務を体験しました。

生徒たちは、職員の説明にしっかりと耳を傾け、真剣な面持ちで仕事に取り組んでいました。

特に、利用者から複写希望のあった広報誌のスキャン作業の際は、被写体のバランスを上手く合わせ撮影されており、丁寧に作業していた様子が印象的でした。

今回の職場体験学習を通して、公文書館とはどのような施設であるかを知ってもらうとともに、生徒たちの職業選択の視野を広げる機会となれと思っています。

日程		研修内容
1月30日(木) 1日目	AM	・オリエンテーション ・行政資料整理配架業務
	PM	・行政資料整理配架業務 ・保存庫へ文書返却 ・スキャン作業
1月31日(金) 2日目	AM	・有害生物モニタリング ・移管文書の箱開け作業
	PM	・閲覧室の整理 ・職員へのインタビュー ・感想文記載

生徒の感想

この職場体験を通して、仕事をするの大変さを学びました。2日間を通して色々な業務をさせていただきましたが、どの業務も普段やったことのないような大きな機械を使った作業だったり、市町村広報誌の登録などの細かい作業をやったりして、楽しいと思いつつ、やはり仕事は疲れるなと思いました。

ですが、この体験は今後自分の将来を決めるにあたってきっと役に立つだろうと思っています。なので、この体験で学んだ仕事の大変さや楽しさを忘れずに今後活かしていきたいです。

今回の職場体験学習を通して、こういう仕事をする事で色々なことを学びました。仕事に大切なことや必要性、人間関係など本当にたくさんのかことをして学ばせていただいてありがとうございました。

今回の職場体験学習でしたことや学んだことを活かして、中学校での友達関係や高校での職場体験学習をよりよい方向にしていきたいです。

職場体験学習の一場面



▲スキャン作業の様子



▲有害生物モニタリングの様子



▲文書箱開け作業の様子

公 施設見学会 文書館の裏側お見せします！

9月～2月の毎月第2木曜日に、施設見学会を開催しました。当日は当館の概要をDVDで紹介し、通常、入ることのできないバックヤードを含め館内をご案内した後、企画展開催期間中（9月～12月）は、企画展「皇室と福岡県」の展示解説を行いました。

令和7年度も引き続き施設見学会を開催しますので、ぜひご参加ください！



▲閲覧室の様子



▲文書保存庫の様子



▲展示室の様子

視 施設見学 察・見学 大歓迎！

令和6年11月28日（木）、筑紫野市手話の会の皆様が、施設見学にいらっしゃいました。事前に当館紹介DVDの音声原稿や館内説明の原稿をお渡しし、当日は手話通訳を交えて施設見学を行いました。

今回のように、施設見学会以外でも、随時視察・施設見学の受入れを行っています。研修やコミュニティ活動の一環として、お気軽に当館にお越しください。



▲DVD視聴の様子



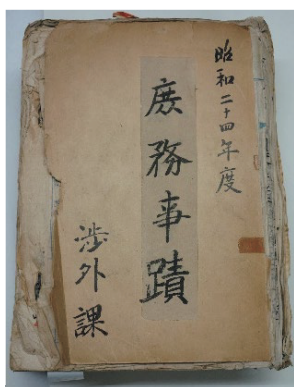
▲展示室の様子



もっと多くの人に公文書館の存在を知ってもらって、
気軽に利用してもらえたら嬉しいな！

所 蔵 資 料 の ご 紹 介

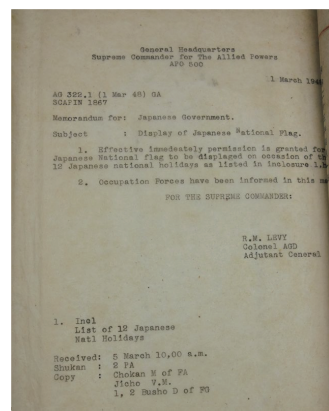
庶務事蹟



▲庶務事蹟 (1-1-0064959)

県庁のオフィス改革の一環で書庫・倉庫の整理をする中で、戦後占領時代、国に委任されて駐留軍（アメリカ軍）に対する労務提供をしていた事績等が大量に移管されてきました。この中に、占領期を映すものとして昭和23年度『庶務事蹟』に連合国軍総司令部（GHQ）が出した日本政府宛の覚書「日本国旗の掲揚について」（英文）の写しがあります。国旗掲揚に関しては、占領期を通してGHQの承認が必要だったようで、昭和23年3月1日付のこの覚書で、12の祝祭日（戦前からのもの）の国旗掲揚は承認を得ないでできるようになっています（同年7月20日に「国民の祝日に関する法律」が公布・施行。制定当初は全9日で、「12の祝祭日」から廃止されたものもあります）。

福岡工業試験場業務 功程報告・芳名帳及び写真



▲「日本国旗の掲揚について」

また福岡県工業技術センター（筑紫野市）の所長室に大事に保管されていた福岡工業試験場（同センターの前身）の昭和期前半の業務報告、研究報告が移管されました。同試験場は、大正14年に設置されていますが、同4年博多織同業組合が県立福岡工業学校（福岡市、現在の県立福岡工業高校の前身）に設立したものが創始とされています。福岡市或いは福岡県の補助を受けながら、力織機及び手織商品の整理加工を行っていましたが、県営移管後、昭和3年設置した醸造部を合わせて施設を建設し、同5年4月に落成式典を挙行しました（研究例としては、昭和2年度には主基齋田奉耕者作業服の染織及び整理加工、9年度には絹洋服地及び絹緞通染料選定試験、醤油と溜との性

質を採長補短してよりおいしいものを醸造する研究などがおこなわれています）。

その後の見学等の来場者の署名が「芳名録」に残されていて、中でも目を引くのが大西洋横断単独飛行（昭和2年）で有名なチャールズ・リンンドバークの署名と訪問日（昭和6年9月18日）で、夫妻で収まった記念写真もあります。



▲福岡工業試験場業務功程報告・芳名帳及び写真 (1-1-0063474) の一部



リンンドバークの来日の目的ですが、『リンンドバーク第二次大戦日記』（新庄哲夫訳、角川ソフィア文庫）

の略年譜1931年の項には、「特注したロッキード社製の低翼単葉機シリウス号も完成したので、7月27日、かねて計画中の北太平洋經由の東洋向け冒険旅行に飛び立つ。車輪を外してフロート（雪上、海面滑走用）を取り付け。カナダ、アラスカを経てベーリング海を越えカムチャツカ：サハリン：では嵐に見舞われ遭難するところを日本船に救われて出発以来1ヵ月後、北海道の根室に着く。翌日、東京へ。：時の若槻首相を表敬訪問し、日米親善、航空交流を促進する壮挙だと書きたてられた。：大阪：福岡を経て、氾濫中の長江上空と飛び、南京郊外の湖に着水。：」と書かれています。

また、平成23年9月20日西日本新聞の記事『手作り紙飛行機に歓声 リンドバーク飛来80年 記念名島小で折り紙教室』により、旧名島水上飛行場に着いたことがわかります。リンンドバークは福岡にどんな感想を持ったのでしょうか。

福岡共同公文書館の歴史公文書で、行政の活動を広く知ることができそうですし、さらに思いがけない出会いも経験できるかもしれません。一度共同公文書館に足を運んでみられてはいかがでしょうか。

（専門員 松尾 正親）

施設利用のご案内

会議室・研修室を利用できます！

福岡共同公文書館では、会議室・研修室を有料で貸し出しています（要事前申込み）。

施設の収容人数や利用料金は以下の表をご参照ください。

- 会議室は、少人数の会議やサークル活動にご利用いただけます。
- 研修室は、音響・映像システムを備え、90名まで収容できるため、講演会や講習などにご利用いただけます。（駐車スペースが豊富です。）
- 目的によっては、ご利用いただけない場合があります。

	収容人数	面積	金額（1時間につき）
会議室	16名	58㎡	400円
研修室	90名	171㎡	1,180円

会議室・研修室を利用される場合は、日程の空き状況の確認や附属設備の利用等、お電話で事前にお問い合わせいただくと、スムーズにご案内できます。

申請書は、当館のHP（「利用案内」）からダウンロードしてご提出ください。

冷暖房無料！！



▲会議室



▲研修室

閲覧室のご利用について



▲閲覧室

閲覧室では、配架している行政資料を自由に閲覧でき、設置している検索用パソコンで歴史公文書及び行政資料の検索ができます。

歴史公文書や行政資料の複写をご希望の方は、係員にお申し付けください。お手持ちのカメラによる撮影をご希望の方も、係員へご確認ください。

	複写料（1枚につき）
白黒	10円
カラー	30円
マイクロフィルムからの印刷	10円

※その他詳細の情報については、当館HPをご参照ください。

交通アクセス

福岡共同公文書館

〒818-0041
福岡県筑紫野市上古賀 1-3-1

電話 092-919-6166

FAX 092-919-6168

JR

西鉄

車

「二日市駅」下車徒歩約13分または

西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

「二日市」下車

西鉄バス「警察署前」バス停より徒歩約1分

九州自動車道「筑紫野インター」より約5分



福岡共同公文書館には宝くじの収益金が活用されています。